



就職に関するよくある質問



Q 保育で力を入れていることは何ですか？

A 子供なりの自立（律）と生きる力や学習の基礎を培うための継続的な保育プログラムです。

非認知能力を高める活動に力を入れています。なかでも、以下の体験的な遊びを通して幼児期に育ってほしい姿を実現していきます。

★運動遊び

- ・0歳から就学前までの各年齢の発達特徴を踏まえ、身体を十分に使う遊び
- ・日常的な環境⇒高中低雲梯・鉄棒・一輪車・クライミングタワーetc.

★和食中心の食事と食育（育てる・作って食べる・成り立ちを知る）

★園外遊び・自然遊び

※数量・図形・文字などへの関心・感覚は様々な遊びや生活の中で学び育てます

Q 認定こども園では、どんな保育をするのですか？

A 8時間以上の保育が必要な子と、3歳児以上で教育だけを必要とする子が一緒に保育・教育を受けています。

園児の成長に、園児と職員の全人格的な関わりは欠かせません。成長過程に最もふさわしい総合的で息の長い、生きる力を伸ばす自然体の保育環境を整えています。認定こども園だからこその十分なスタッフが、子供中心の、成長に欠かせない豊かな体験をしっかりと支えています。

学校としての教育機関と認められている当園では、充実した配置の職員が、外部の力に頼ることなく、自分たちで学び考えながら力を合わせじっくり教育・保育に取り組んでいます。だから、一人ひとりの職員は、ゆとりをもって日々の教育・保育で充実感を持てるのが認定こども園の良さであり、その特長をどこよりも当園は発揮しています。

Q 園の行事は何をどのように行いますか？

A 春の親子ふれあいスポーツ大会、年齢によって季節・行き先・活動内容が変わる親子園外活動、夏まつり、生活発表会などがあります。

季節や生活の変化や楽しみを織り交ぜながら子供中心の普段の保育を最も大事にします。一年を、次から次へと行事を追いかけ、過ごしていく「行事園」や園児と職員に過度の負担を強いる「こだわり（見栄え）イベント園」にはならないようにしています。

なお、年間を通して（月2～3回）保護者による1日保育参加を行い保護者と園が子供理解や保育の共有を図る事を重視し、また、地域の子育て支援（フレンズデー）で年140日程度の園開放や地域の親子の体験保育も行っています。

Q クラス編成・職員数は？

A 2025年5月初日時点で以下の通りです。
※有資格者のみ記載

クラス名	年齢	人数		部屋数	職員数
		2・3号 （保育園）	1号 （幼稚園）		
ひよこ	0歳児	5	-	3	13
らっこ・うさぎ	1歳児	19	-		
りす	2歳児	21	-	1	4
ぱんだ	3歳児	20	5	1	4
くま	4歳児	21	7	1	2
きりん	5歳児	19	6	1	2
ひつじ	1号	-	【18】	1	1
フリー					1
休職中					2
合計		103	18	9	29

Q 職員構成・平均年齢は？

A 2025年5月初日時点で以下の通りです。

園長【1】 副園長【1】 常勤保育教諭【20】 パート保育教諭【7】

看護師兼保育教諭【1】 保育補助【1】 栄養士【3】 調理員【3】

※産休・育休取得者含む。

保育教諭の平均年齢は、35歳で年齢層は

20代【10人】30代【10人】40代以上【9人】。

若手からベテランまでバランスのよい構成で、安心して経験や知識が積めるようにしています。また、年数回のレクリエーションなどを通し、職員間の親睦を深めています。

Q 車で通勤することはできますか？

A (原則)可能です。

職員専用駐車場が16台分あります。個別に借りるようであれば空きがなくても車で通勤することは可能で、空きができ次第職員専用駐車場の利用ができます。※駐車場代の一部負担（月額2,500円）あり。

Q 休憩はどのように取りますか？

A 子供の午睡の時間に合わせ、休憩を取ります。

保育室ではなく休憩室で順番に取るため、しっかりと休息ができますし、他グループや給食担当者などの職員とのコミュニケーションを取ることもできます。休憩時のお茶代も一部園が負担しています。

Q 給与はどの程度もらえるでしょうか？

A

短大・専門卒の2025年度実績は以下の通りです。

1年目：3,747,000 4年目：4,464,000

6年目：4,696,000 8年目：4,985,000

※千円未満切捨て。通勤手当、時間外手当除く

参考：保育士（女性）の平均年収

出典：厚生労働省「令和4年度賃金構造基本統計調査」

平均年齢：38.8歳 勤続年数：8.8年 平均年収：391万円

当園では短大卒3年目の時点で平均年収に並ぶ給与体系になっています。

また園独自の退職金制度に加え、株式会社等の企業立の園では加入できない福祉医療機構の退職金制度にも加入しています。仮に20年勤務後退職した場合の退職金は770万程度が非課税で受け取れます。

給与を比較するときは単純に月給だけでなく、賞与を含めた年収や退職金制度を含めた生涯賃金等を考慮して比較することをおすすめします。

Q

お休みは取りやすいですか？

A

年次有給休暇を除く、休日は120日で、前年度の年休取得率は89.6%でした。

行事や複数人の休みの希望が重ならない限り、概ね希望通り年次有給が取れます。プライベートの充実や十分な休息が保育にも活きると思いますので遠慮せずに取得していただいて構いません。

また子育て中の職員も多く、子の体調不良等急遽の休みにも職員同士助け合いながら対応しています。当園の支援の対象は園児や保護者だけではなく、職員を含む地域の子育てに関わる全ての人と考えています。

他に夏季休暇（6日）やリフレッシュ休暇（4日）や忌引き結婚休暇等の制度があります。

Q 保育教諭の出身校はどこですか？

A 四大、短大、専門と様々です。また、養成校出身ではなく
国家試験で資格を取得した職員も多くいます。

相模女子大学・鎌倉女子大学

日本女子体育大学・東京医療保健大学・成蹊大学

湘北短期大学・和泉短期大学・小田原短期大学

聖セシリア女子短期大学・鎌倉女子大学短期大学部

東京女子短期大学・玉川女子短期大学

Y M C A 健康福祉専門学校・聖ヶ丘専門学校

横浜こども専門学校 etc.

Q ピアノが得意ではないのですが・・・

A ピアノが苦手でも、素晴らしい保育教諭はたくさんいます。

園では楽器の演奏をする機会がありますが、子供たちと楽しむことが主眼です。日々の生活の中で演奏する曲は限られていますし、季節の歌は少し練習すれば十分こなせます。

ピアノに限らず運動遊び・絵画製作・自然遊び・音楽活動など子供の成長に必要なことは無限にあります。そのような活動の中で得意なこと磨き、特技を更に高めていくことで素晴らしい保育教諭になれます。

Q 文章を書くのが苦手・・・

A わかりやすく伝えられれば充分です。

日々の保育記録として文章を書きますが、考えたり実施した内容をPCで簡単に文字にするもので、美文や上手い表現は要求されません。そのために、就職した後しばらくたってから、書くコツを徐々に教えてもらいながら、練習していきます。

Q 勤務体制はどのようになっていますか？

A 大きく3つのパターン（早出・中番・遅出）に分かれており、1週間毎に勤務パターンが変わります。

A勤務（早出）8:00～16:45

（早番）7:00～15:45 ※月に2～3回程度

B勤務（中番）8:30～17:15

C勤務（遅出）9:15～18:00

（9時半番） 9:30～18:15

（遅番）9:15～19:00 ※月に2～3回程度

↳1時間程度の時間外勤務

勤務例 ※この組み合わせが全てではありません							
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1週目	A	C	A	A	C	B	B
2週目	C	A	B	C	A	A	C
3週目	A	C	C	A	B	C	A
4週目	C	A	A	B	A	A	C
5週目	A	C	C	A	C	C	A

Q 試験の日程と内容は？

A その場でアンケートを記入していただき、それと履歴書をもとに面接をさせていただきます。

・アンケート

事前の準備の必要のない、簡単な内容です。

面接時の資料として使用させていただきます。

・面接

保育に対する思いやアンケートや履歴書に書かれていることをもう少し詳しく伺います。

アンケートと面接の間の休憩を含み、全体の所要時間は60～90分程度です。

Q 保育の進め方は？

A 一年目は、複数の職員と共にグループ運営を進めていきます。主担任・副担任というような立場の違いはなく、慣れてきたらリーダーとして保育にあたります。

生活の流れが分かるまで

- ・ 他保育教諭と共に環境整備を主に保育にあたります

子供の様子が分かってきたら

- ・ お集まりや主活動など、保育の一部をリーダーとして進めていきます

子供の育ちが分かってきたら

- ・ 他担任や指導職員と共に考えた活動についてねらいなどの計画を立てます
- ・ 計画を立てた活動を中心に主活動をリーダーとして進めていきます
- ・ 慣れてきたら、クラス内で話し合って決めた1週間分の活動内容について、ねらいなどの計画を立てます

Q 教育・保育を進めるうえで大切なことはなんですか？

A やっぱり大事な
ほう（報告）・れん（連絡）・そう（相談）

保育の進め方や保護者への対応など、悩んだり困ったりする場面が多々あると思います。だから、他の担任はもちろん教頭・主幹保育教諭・副主幹保育教諭などがいつでも相談にのれる体制をつくっています。『こんなことを聞いても大丈夫かな！？』と悩んでしまうときには思い切って相談しましょう。きっと、様々なアドバイスをくれるはずです。

教育・保育の仕事の大半はコミュニケーションによって成り立っています。園児・保護者とはもちろんですが、職員とのコミュニケーションは更に大切です。「気づき」「学び」には些細なことでも ほう・れん・そうは意味があります。必要なコミュニケーションをとるための方法身に付けましょう

保育教諭を目指すみなさんへ

保育の仕事はとても魅力的で楽しい仕事ですが、計画を立てたり保育を進めていくうえでの準備をしたりするのは大変なことです。時には思うようにできず悩むこともあるでしょう。

しかし、悩みや困難を乗り越えたときに、更に保育の面白さや深さを感じることができると思います。

来年の四月、皆さんと一緒に保育ができることを楽しみにしています。

